



我孫子市

Abiko city

令和2年6月29日
定例記者会見資料

令和2年 市制施行50周年記念事業を実施

昭和45年7月1日、県内で22番目の市として誕生しました。50周年を記念して様々な事業を実施します

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け記念式典を延期したことに伴い、記念事業の実施時期を延期しました。

1 市制施行50周年記念事業

(1) 記念式典 予算：2,967千円 担当課：秘書広報課

市政功労者への表彰、市民文化スポーツ栄誉章の贈呈、名誉市民の称号授与を行う。市民の歌の補作・作曲者、シンガーソングライター小椋佳氏と中学生による市民の歌を披露。

※令和2年12月23日に実施予定。

(2) 名誉市民 予算：653千円 担当課：秘書広報課

世界的なプロゴルファー青木功氏、国際アンデルセン賞受賞作家上橋菜穂子氏を名誉市民の称号を授与。※令和2年3月決定。

(3) 市民文化スポーツ栄誉章 予算：142千円（9月補正予定）担当課：秘書広報課

プロゴルファー海老原清治氏、日本サッカー協会会長田嶋幸三氏、ジャパンラグビートップリーグチェアマン太田治氏に栄誉章を贈呈。 ※令和2年7月1日決定、7月1日情報解禁。

(4) 市政功労表彰

自治、教育文化、社会福祉功労等、市政の発展に寄与した方々を表彰する。

※令和2年4月6日決定。

(5) 「あびこ市民の歌」新たな音源制作 予算：1,320千円 担当課：秘書広報課

あびこ市民歌の補作・作曲者小椋佳氏がアレンジした新しい音源を制作。

※記念式典にあわせて延期。

(6) 記念モニュメント制作 予算：650千円担当課：秘書広報課

市マスコットキャラクター「手賀沼のうなきちさん」の座姿の石像（御影・50cm）を制作。 ※記念式典にあわせて延期。

(7) 記念切手の制作 予算：1,260千円 担当課：秘書広報課

名誉市民の青木功氏や上橋菜穂子氏、ふるさと大使のナイツ埴宣之氏、市の風景等をデザインした記念切手を制作。式典出席者へ贈呈。 ※記念式典にあわせて延期。

(8) 記念誌発行 予算：制作業者負担 担当課：秘書広報課

小中学校や市内の航空写真、50年の歩み等掲載。小中学生が学べる記念誌をコンセプトに制作。全児童・生徒、市政功労者等へ配付。 ※記念式典にあわせて延期。

(9) 山下清展 予算：7,829千円 担当課：生涯学習課

昭和17年から22年まで本市で過ごした天才画家、山下清画伯の絵画や遺品等を展示。 ※令和2年11月21日(土)～12月20日(日) 予定。

(10) JR我孫子駅発車メロディの変更 予算：1,270千円 担当課：企画課

JR我孫子駅の発車メロディを「あびこ市民の歌」と「河童音頭」に変更する。令和2年7月1日から令和3年2月末(予定)

1番線(常磐(快速)線下り：河童音頭 5番線(常磐(快速)線上り：あびこ市民の歌

(11) その他事業

あびこ市民の歌PR、広報あびこに特集記事掲載、施設の無料開放、ジャパンバードフェスティバル内での記念事業等実施する。

2 記念事業のうち7月1日に実施する事業

(1) JR我孫子駅発車メロディの変更

(2) あびこ市民の歌PR事業

小中学校では、給食の時間に市長メッセージ付き(別紙)を放送。その他、本庁舎、生涯学習センターアビスタ、鳥の博物館であびこ市民の歌を放送。

また、初めて、あびこショッピングプラザ(イトーヨーカドー我孫子店)で放送。

(3) 広報あびこ7月1日号で「私たちあびこ応援団」を特集

プロゴルファー青木功氏、作家上橋菜穂子氏、あびこ市民の歌作曲者で歌手の小椋佳氏、日本サッカー協会会長田嶋幸三氏など、市ゆかりの方々から50周年へのエールを掲載(別紙)。

(4) 市民文化スポーツ栄誉章

市民のふるさと意識を高めるため各分野において顕著な功績をあげた3名に栄誉章を贈呈することを決定。7月16日号広報あびこに特集記事を掲載。

(5) 施設の無料開放

- ・ 鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館の入館料無料
- ・ 水の館プラネタリウム、手賀沼公園ミニS Lの利用料無料

【問い合わせ】

我孫子市総務部秘書広報課広報室長 小池、藤代

電話：04-7185-1752(直通)